

## 第3回品川区幼稚園今後のあり方検討委員会 議事録

### ○ 総括

伊藤幼稚園の閉園について、懸念事項に対しては丁寧な対応を心掛けて進めてほしい。基本は園児を第一優先に、保護者への対応、教職員への対応に努める必要がある。ニーズの変化がある中で、変化するニーズに対して幼児教育をどのように充実させていくかに焦点を当てて対応していきたい。

### ○ 区立幼稚園の今後の方向性・伊藤幼稚園の閉園について

区分 (発言者)	質問・意見	回答
質問 (勝亦委員)	○城南、浜川の閉園は状況を見ながらとあるが、充足率を見ていくイメージなのか。	○城南、浜川の閉園のタイミングについては充足率を見ていく必要があるが、併せて周辺状況や伊藤幼稚園の閉園後の状況も見ながら時期を出す。
意見 (勝亦委員)	○城南、浜川の閉園についてスケジュールは具体的に示されておらず、出口のないものになるため、そこで働く教職員のモチベーションにも影響が出ないか心配。	○子どもを中心に考え、連携して運営を行うことでモチベーションを維持してもらいたいと考えている。
質問 (中谷委員)	○伊藤幼稚園の閉園について保護者に説明した際に、転園の可能性などはどの程度見込んでいるか。	○転園希望があった際に空いている区立園であれば転園は可能。定員がいっぱいの園には転園できないので他の園を案内することになる。私立についても空きがあれば、それも含め広い範囲で案内する。  中元委員(補足) ○朝7時半から預かりをしている近隣私立園は、おおむね定員がいっぱいだが、近いところで空きがある園もある。園バスもあり遠いところの方も受け入れできると思う。
質問 (中谷委員)	○令和5年度の各園の人数が固まる時期の見込みはいつ頃か。	○11月の申し込みの段階である程度人数が分かる。

区分 (発言者)	質問・意見	回答
意見 (丸山委員)	○教職員の今後については教育委員会とも相談しながら、継続して勤務できるように検討していただきたい。	—
意見 (中谷委員)	○閉園になるからといって仕事が減るわけではなく、むしろ細かな対応含め業務は増える。閉園だからといって教職員の数を安易に減らさず、維持または増やすことも検討する必要がある。 ○保護者会を開けば保護者は来てくれるという話を聞いた。そういったところを活かしながら進めることができればと思う。	—
意見 (中元委員)	○以前の統合の際、区でも対応していたが、自宅からの距離の関係もあり、幼稚園での保護者対応は増えると思う。	—

○ 品川区立幼稚園の今後の運営に関する基本方針・今後の対応予定について

質問 (米田副会長)	○基本方針が固まるのはいつ頃になるか。	○8月、9月くらいと考えている。
意見 (中元委員)	○基本方針の策定は、もっと早い方がいいのでは。こういったバックボーンがあつての議会などへの報告になると思っていた。	柏原会長(補足) ○検討委員会での検討内容、学識経験者の意見を踏まえて区としての方向性をまとめた、ということになるので形としては後追いになる。
質問 (中元委員)	○平成9年の取り扱いとしては、今回の基本方針が上書きするという認識でよいか。	柏原会長 ○平成9年の方針では、充足率のみで線引きをしていた中で、その数字だけでよいのかというのが今回の議論だった。平成9年の方針の上に乗せる形にするか、完全な上書きとするかは議論が必要。